2026年11月13日

各 位

会 社 名　東 邦 ホ ー ル デ ィ ン グ ス 株 式 会 社
代表者名　代表取締役 社長執行役員 CEO　枝廣　弘巳
（コード番号 8129 東証プライム市場）
問合せ先　専務執行役員 経営戦略本部長　河村　　真
（電 話　０３－６８３８－２８０３）

CVCファンド「TOHO Ventures」による Boston Medical Sciences 株式会社への出資に関するお知らせ

東邦ホールディングス株式会社（本社：東京都、代表取締役 社長執行役員 CEO：枝廣 弘巳、以下「東邦ホールディングス」）は、CVCファンド「TOHO Ventures」を通じ、Boston Medical Sciences 株式会社（本社：東京都、代表取締役 CEO：岡本 将輝、以下「BMS」）に出資しましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1．出資の目的

BMSは、下剤を用いない大腸CT検査を支援するAIシステムの開発・臨床展開に取り組む企業です。大腸がんは、世界的に罹患率・死亡率ともに高い疾患のひとつであり、早期発見・早期治療による予後改善が強く求められています。一方、現行の大腸内視鏡検査は事前の下剤服用を必要とするため、受診者の負担となっており、受診率向上を妨げる要因のひとつとされています。BMS はこの課題を解決するため、『無下剤バーチャル内視鏡®検査システム』の開発を進めています。

同社の『無下剤バーチャル内視鏡®検査システム』は、CT スキャン画像から腸管内の残渣を仮想的に除去する腸管洗浄AIとポリープの検出を支援するAIを組み合わせ、下剤を用いない大腸CT検査の実現を目指す医療AIシステムです。国内においては厚生労働省の「プログラム医療機器に係る優先的な審査等の対象品目」に指定され、国内治験を完了しています。また、グローバル展開の足掛かりとして2026年5月には米FDAよりブレークスルーデバイス指定を受け、同年6月には開発初期からFDAや関係者と緊密に協議が可能なTAPプログラムにも採択されました（※）。さらに、ハーバードメディカルスクールとマサチューセッツ総合病院の 3D Imaging Research グループとの共同研究や、国内の医療機関との連携を深めています。

東邦ホールディングスは、BMSの下剤不要の大腸CT検査の実現に向けたAI技術開発力、大腸がん検診の受診負担軽減というアンメット・メディカル・ニーズへの戦略的アプローチ、そして国内外における開発・薬事対応の進展を評価するとともに、当社グループの医薬品流通網を活かした事業シナジー創出や価値共創の実現を見据え、今回の出資を決定いたしました。

※『無下剤バーチャル内視鏡®検査システム』は日米ともに未承認の開発中製品で、販売・授与はできません（FDAのブレークスルーデバイス指定等は販売承認ではありません）。

2. Boston Medical Sciences の概要

会社名	Boston Medical Sciences 株式会社
所在地	東京都中央区
代表者	岡本 将輝
設立	2023 年 4 月
事業内容	非侵襲的 AI 大腸がんスクリーニングシステムの開発・臨床展開
URL	https://b-ms.tech/

3. TOHO Ventures の概要

ファンド名	TOHO Ventures （名称：TOHO-GB Global Life Science Fund, L.P.）
運用総額	100 億円
運用期間	10 年間
投資対象	創薬、医療機器等
無限責任組合員	グローバル・ブレイン株式会社
有限責任組合員	東邦ホールディングス株式会社

4. 今後の見通し

本件にともなう業績への影響については、現時点では軽微でありますが、中長期的には当社グループの企業価値向上に資するものと考えております。今後、適時開示の必要性が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

以 上